

2021 年度実施概要

学校名

気仙沼市立鹿折中学校

採択活動名

震災体験を聞く・学ぶ・共有する ー津波死ゼロを目指してー

実施単元

単元名	学年	教科
1. 『海を知る学習』海洋教育保全推進活動〔浜清掃, 漂着物, 水質調査〕他	1 学年	総合的な学習の時間
2. 『海からの教訓ー震災伝承学習』 震災体験を聞く・学ぶ・共有する ー津波死ゼロを目指してー	全学年	総合的な学習の時間
3. 『海のまちに生きる人たちと共に』避難所初期設営訓練	全学年	総合的な学習の時間

取り組みの概要

海洋教育の「海と安全」の分野で学習を進めた。主に総合的な学習の時間を中心に学習を進めた。

- ①『海を知る学習』では、社会科や理科において、「気仙沼湾の地形、鹿折地区の地形的特徴（リアス式海岸と津波のしくみと影響）を学ぶと共に、総合的な学習の時間において海洋教育保全推進活動（浜清掃、漂着物、水質調査）を行った。



環境保全調査活動

また、気仙沼市や岩手県陸前高田市の東日本大震災遺構・伝承館を訪れ、地震・津波災害についての理解・研修を深めた。

- ②『海からの教訓ー震災伝承学習』では、過去の津波災害、震災経験や教訓から命の大切さや命を守る行動について学び、震災の記憶風化と震災を知らない世代へと発信する学習活動に取り組んだ。学習にあたっては、東北大学災害科学国際研究所の佐藤翔輔准教授を防災学習コーディネーターとし、東北大学のご指導・ご協力を頂きながら地域住民から震災時の避難体験を聞き、体験談から得た教訓や学びを地域や近隣の小学校へ発信した。



震災伝承学習発表会

- ③『海のまちに生きる人たちと共に』では、6月と11月に地域、行政等と連携した防災訓練を実施した。活動後は成果と課題を振り返り、避難所初期設営マニュアルを完成させるなど、「海のまち気仙沼に生きる」市民として「津波死ゼロ」を達成するために必要な能力や資質の向上を図る学習に取り組んだ。



新型コロナウイルス対応避難所初期設営訓練

活動を通して生徒は「海のまち気仙沼に生きる」市民として、海と地域の災害特性を知り、生命の大切さや防災・減災の正しい理解を深めた。また、地域の一員として自分たちができること考え、主体的に実践しようとする姿が見られた。